

トランスフォーム™ フロアブル

Isoclast™ active

園芸用殺虫剤

野菜類の吸汁性害虫防除に、新規スルホキシイミン系殺虫剤。

野菜の大敵、アブラムシ類やコナジラミ類に優れた殺虫効果を発揮！

吸汁性害虫防除のスペシャリストが、

速効力と持続力で、野菜づくりをサポートします。

・ばれいしょ、ごぼう、やまのいも、非結球あぶらな科葉菜類、ブロッコリーに適用拡大！



野菜の大切な実りを守りぬく！
吸汁性害虫防除の
ニュー・ヒーロー！

■トランスフォームフロアブルの特長

「スルホキシミン系」の新規殺虫剤です。

現在の知見において、既存のどの系統の殺虫剤とも交差抵抗性は認められていません。

- ・浸透移行性と浸達性があり、残効性に優れます。
- ・速効性に優れます。

アブラムシ類、コナジラミ類に安定した効果を示します。

タバココナジラミ・バイオタイプQの発生密度が高い場合には、「1000倍」でのご使用をおすすめします。

- ・スワルスキーカブリダニ等、捕食性カブリダニ類への影響は認められておりません。
- ・マルハナバチは散布2～5日後に放飼できます（日数×24時間）。

■キャベツ/アブラムシ類 (モモアカアブラムシ優占)

2011年 岩手県農業研究センター

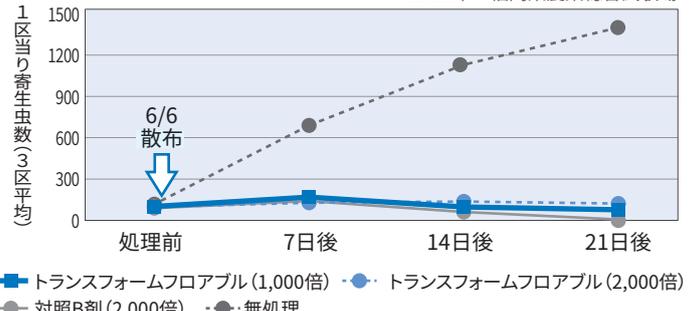


■ トランスフォームフロアブル (2,000倍) ● 対照A剤 (2,000倍) ○ 無処理

【試験概要】 ●発生状況：中発生（モモアカアブラムシ優占、一部ニセダイコンアブラムシ） ●品種：YR青春（定植：5月31日） ●区制：1区12株×3反復 ●処理方法：6月28日に肩掛式噴霧器で散布（240ℓ/10a、展着剤加用） ◆調査方法：1区12株について見取りにより有翅および無翅の寄生虫数を調査（グラフは有翅虫と無翅虫の合計）

■きゅうり/タバココナジラミ (バイオタイプQ)

2011年 福岡県農業総合試験場



■ トランスフォームフロアブル (1,000倍) ● トランスフォームフロアブル (2,000倍) ○ 対照B剤 (2,000倍) ○ 無処理

【試験概要】 ●発生状況：多発生（処理5日前に株当たり成虫約20頭を放飼） ●品種：ちなつ（定植：5月27日） ●区制：1区8株×3反復 ●処理方法：6月6日（草丈50cm）に蕃式噴霧器で散布（展着剤不加用） ◆調査方法：各区全株の中～下位の3葉に寄生する成虫および幼虫の寄生虫数を調査（グラフは成虫と幼虫の合計）

■トランスフォームフロアブルの適用害虫と使用方法 (野菜のみ抜粋)

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	10アール当り使用量	使用時期	本剤およびスルホキサフルを含む農薬の総使用回数	使用方法
ばれいしょ、ごぼう	アブラムシ類	2,000	100～300ℓ	収穫7日前まで	3回以内	散布
やまのいも				収穫3日前まで		
キャベツ	アブラムシ類、ネギアザミウマ			収穫前日まで		
だいこん、レタス、非結球レタス、非結球あぶらな科葉菜類、プロッコリー	アブラムシ類			収穫3日前まで	2回以内	
はくさい				収穫前日まで		
きゅうり、なす、ピーマン	コナジラミ類			1,000～2,000	発生初期	
トマト、ミニトマト	アブラムシ類	2,000				
		コナジラミ類、トマトサビダニ	1,000～2,000			
きく	アブラムシ類	2,000				
	アザミウマ類	1,000～2,000				

※その他、りんご、なし、かんきつ、すもも、おうとう、ぶどうにも適用があります。

■使用上の注意事項

- 使用前に容器をよく振ってから使用してください。
- 本剤の所要量を所定量の水にうすめ、よくかき混ぜてから散布してください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ・ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
 - ・受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
 - ・関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 散布器具及び容器の洗浄水等は河川等に流さないでください。また、空容器等は環境

- に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 間引き菜及びつまみ菜に使用しないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
- 作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 直射日光を避け、食品と区別してなるべく低温な場所に密栓して保管してください。

●使用前には、ラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。 ●防除日誌を記載しましょう。

製造販売

ダウ・アグロサイエンス日本株式会社

〒100-6110 東京都千代田区永田町2丁目11番1号

山王パークタワー

<https://www.corteva.jp/>



取扱

本資料は2019年5月現在の知見に基づき、作成されています。